

日本発達障害支援システム学会 2010年度 研究セミナー 研究大会

＝発表論文集＝

＝大会テーマ＝

『障がい者の生涯学習支援と社会参加』

●平成 22 年 12 月 18 日(土)

●明星大学 日野キャンパス

東京都日野市程久保 2-1-1

主催:日本発達障害支援システム学会

2010 年研究セミナー・研究大会実行委員会

ご挨拶

メインテーマ： 「障がい者の生涯学習支援と社会参加」

平成 22 年度の日本発達障害支援システム学会 2010 年度大会を私ども明星大学がお引き受けし、12月18日(土)の午後、東京都郊外に位置する日野校で開催することになりました。

今日、生涯学習の時代と言われるように、学校等の教育機関以外でも様々な学習の機会が提供されています。しかし、障がいを持つ人への学習活動支援は、1992年の生涯学習審議会答申で必要性が指摘されているにもかかわらず未だ十分でない実情です。障がい者の生活の場が施設から地域へ移行していく中で、学びの必要性は高まっており、身近な地域で彼らの学びを支えていくことが益々重要になっています。また、生涯学習の場は様々な人たちが集うことで、ICF（国際生活機能分類）でいうところの社会参加の機会としても期待することができます。例えば学校卒業後、ともしれば職場或いは作業所と自宅の行き来のみとなってしまうがちな知的障がい者の場合、仲間づくりや語らいの場ともなり、生活に潤いを与え、QOL（生活の質）を高めることにもつながるように思われます。

生涯学習はともしれば成人期の事柄として捉えられ、学齢期の特別支援教育とは切り離して考えられがちですが、生涯発達支援の観点からは深いつながりを持ち、学校時代においても、将来を踏まえた余暇学習も含めリンクさせて考えるべきものです。更にその実践にあたっては、受講者である障がい児者の特性を考えたカリキュラム構成が必要であり、その基盤として、学習・認知・コミュニケーション支援面の研究も要求される学際的な分野と考えられます。

今大会は、生涯学習と社会参加というキーワードを基軸にしながらも、詳細にこだわらず、幅広い観点からの情報交換、研究交流の機会となることを望みます。ぜひ参加をご検討願えれば幸いです。

2010年12月

日本発達障害支援システム学会
第9回研究セミナー／研究大会準備委員会
実行委員長 島田 博祐

会場へのご案内

明星大学 日野キャンパス
〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

■最寄り駅

多摩モノレール利用

「中央大学・明星大学」駅直結

※駅からは学内エスカレータ「Starway」が利用できます。下記はアクセスの例となります。

- (1) 新宿駅→(京王線 29 分)→高幡不動駅→(多摩モノレール 7 分)→中央大学・明星大学駅
- (2) 小田急・京王多摩センター駅→(徒歩 3 分)→多摩センター駅→(多摩モノレール 5 分) 央大
→中学・明星大学駅

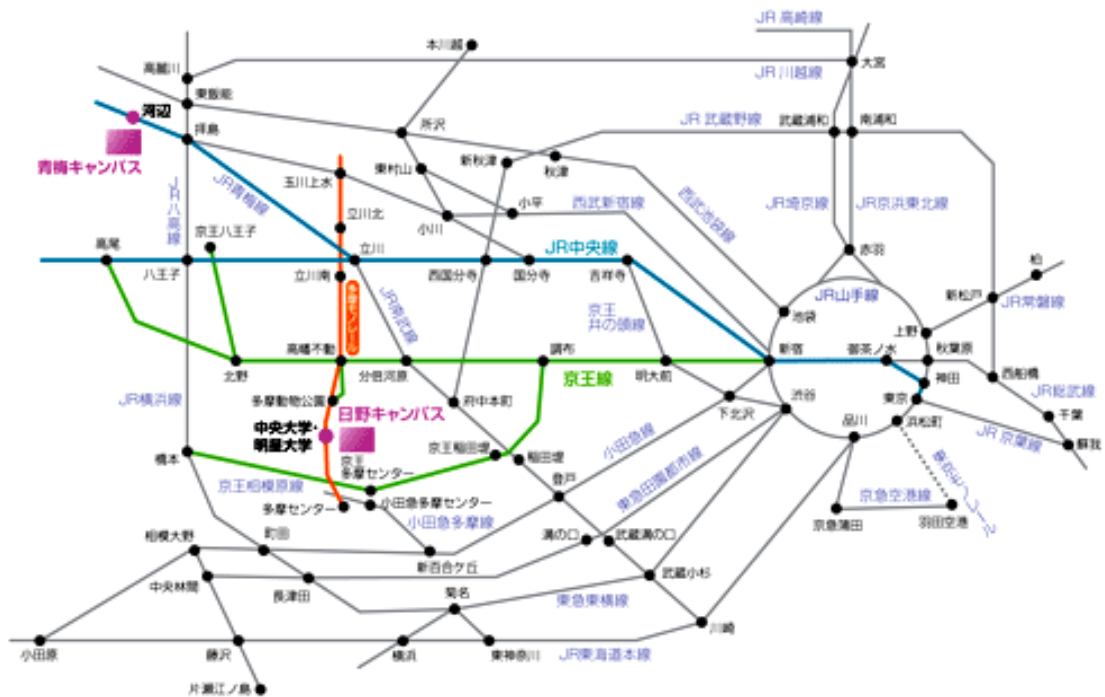
京王線利用

「多摩動物公園」駅徒歩 10 分

新宿駅→(京王線 29 分)→高幡不動駅→(多摩動物公園行き 3 分)→多摩動物公園駅→明星大
学(徒歩 10 分)

※高幡不動駅で多摩モノレールに乗り換えることもできます。

※()は、所要時間の目安です。



構内案内【明星大学日野校】



会場案内

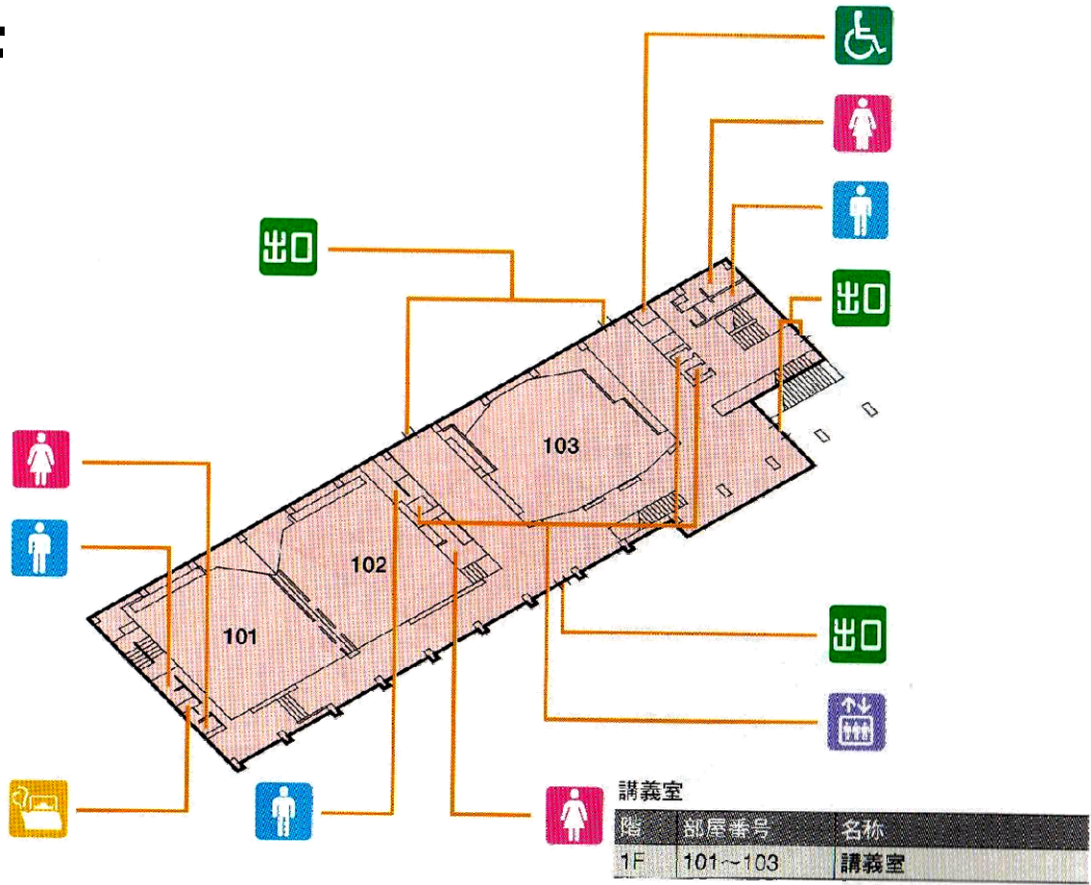
26号館 1-5階

- 受付 (103 教室前) 【12:30~13:10】
- 教育講演 (103 教室) 【13:10~14:50】
- 各種分科会 (506, 507, 513, 514 教室) 【15:00~17:00】
- ポスター発表 (508 教室)
【掲示 15:00~17:00】
【在席 16:15~17:00】

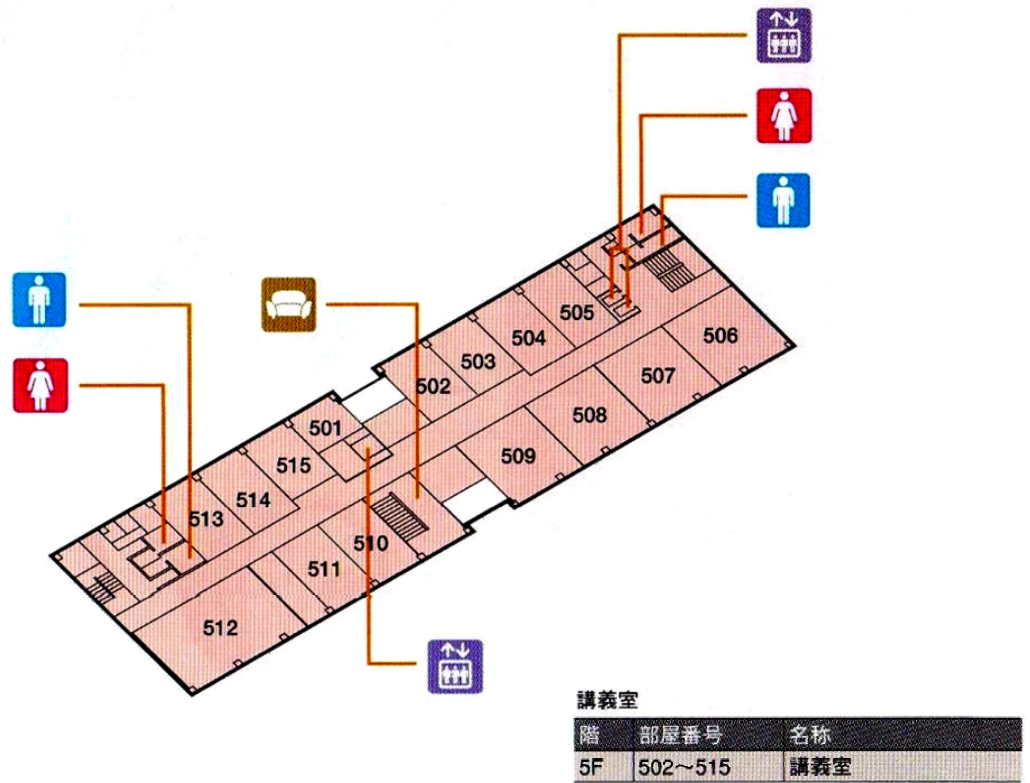
28号館 食堂

- 懇親会 【17:15~18:30】

1F



5F



参加者へのご案内

I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章（氏名・所属を記入したもの）をお付けください。参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。

2. 受付場所は教育講演会場前にて行います。受付時間は **12:30～13:10** です。

事前申込の場合 2,000 円

当日参加の場合 2,500 円

（参加費には論文集代が含まれます。）

発表費：1 演題あたり 1,000 円

懇親会参加費：3,000 円

II 会場

会場は 26 号館 103 教室（教育講演）と 26 号館 5 階（各分科会、ポスター発表）の 506, 507, 508, 513, 514 教室を使用します。

III 懇親会

大会終了後の 17:15～18:30 に 28 号館食堂にて行います。

懇親会は当日も参加受付をしますが、人数に限りがありますので、できるだけ事前にお申込みください。当日受付参加費は 3,000 円です。

IV 連絡先

会期前、会期中ともに、大会準備委員会（実施本部）への連絡は下記まで、電子メールでお願いします。実施本部では、当日 15 分ごとにメールチェックをおこないますので、緊急の連絡などありましたら連絡先電話番号などをお知らせいただければ、メールチェック確認後、本部よりご連絡させていただきます。

日本発達障害支援システム学会第 9 回大会準備委員会

電子メール jasssdd@u-gakugei.ac.jp

総会 HP <http://www.jasssdd.org/2010congress/>

研究発表者へのご案内

【口頭発表】

1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時間の17:00まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後10分：1鈴 12分：2鈴（発表終了） 15分：3鈴（質疑応答終了・交替）

2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データをUSB接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows XP（パワーポイント2003以下）を用意いたします。なお、Macintosh版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

3. 座長の方へ

- 1) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。
- 2) 各セッションに2名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までにE-mailにて大会準備委員会に必ずご連絡ください。

4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、事前に所属・氏名を明らかにしてください。
また、30秒以内に簡潔にお願いします。

5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間在席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は15:00~17:00、在席責任時間は16:15~17:00です。ポスターは壁またはパテーションに掲示してください。

4. ポスター掲示範囲は横幅 80cm×縦 150cm 以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目（フォントサイズ目安：72 ポイント）、発表者氏名（筆頭発表者に○を付ける）、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。込み入った図や表の使用を避け、2 m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープは会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

大会スケジュール

12月18日(土)

会場 26号館	103教室	506教室	507教室	513教室	514教室	508教室
12:30	受付(会場前)					
13:00	開会					
13:10	教育講演 講演 小林繁(明治大学 教授) 司会 島田博祐(明星大学 教授)					
14:50						
15:00		第1分科会 学習支援・ インクルー ジョン 領域	第2分科会 コミュニ ケーション 支援領域	第3分科会 生涯発達 支援 領域	第4分科会 生活支援・ 健康支援 領域	ポスター発表 分科会 掲示: 15:00~17:00 発表者在席: 16:15~17:00
17:00						
17:15	懇親会 (28号館食堂)					
18:30						

プログラム案内

＝第1部＝ （会場：26号館103教室）

教育講演：13：10～14：50

『障害をもつ人への学習文化保障の課題』

—生涯学習支援の視点から—

<講演>

明治大学 文学部 教授 小林 繁

<司会>

明星大学 教育学部 教授 島田 博祐

【講演者プロフィール】

1954年に福島県に生まれる。現在明治大学文学部教授。

主たる専攻は、社会教育および教育社会学で、大学では主として社会教育関係の科目を担当するとともに、ノーマライゼーションの視点から障害をもつ人の生涯学習支援について研究を進めている。また障害をもつ市民の生涯学習研究会代表および障害をもつ人が働く喫茶コーナー全国交流会の代表のほか、胎児性水俣病患者と障害をもつ人が働く社会福祉法人「ほっとはうす」の理事、障害をもつ人の学習文化活動を支援するNPO法人「Pippi」の理事などもつとめている。

【主な著書】

- ・『君と同じ街に生きて—障害をもつ市民の生涯学習・ボランティア・学校週五日制—』（編著、れんが書房新社）
- ・『学びのオルタナティブ』（編著、同）
- ・『この街がフィールド—障害をもつ人の生涯学習ハンドブック—』（編著、同）
- ・『学びのトポス—社会教育計画論—』（クレイン）
- ・『障害をもつ人たちが主役の喫茶コーナーがひらくひと・まち・暮らし』（共編著、ゆじょんと）
- ・『学びあう「障害」』（編著、クレイン）
- ・『現代社会教育』（同）
- ・『障害をもつ人の学習権保障とノーマライゼーションの課題』（れんが書房新社）などがある。

＝第2部＝

第1分科会 ＝学習支援・インクルージョン領域＝ (26号館506室)

座長：霜田浩信（群馬大学）・菅野敦（東京学芸大学）

- 1-1 『居住地校交流の制度化に関する研究』
発表者：尾上裕亮（明星大学大学院）
- 1-2 『インクルーシブ教育におけるダウン症児の実践記録』
発表者：山田真幸（東京学芸大学大学院）、橋本創一（東京学芸大学）
- 1-3 『教育現場への大学生ボランティア派遣の現状』
発表者：霜田浩信（群馬大学）、井澤信三（兵庫教育大学）
- 1-4 『中国における障害乳幼児のための「個に応じた教育」に関する条件整備への検討』
発表者：伊麗斯克（東京学芸大学大学院）、菅野敦（東京学芸大学）
- 1-5 『成人期知的障害者の生涯学習支援に関する研究（Ⅲ）』
発表者：今枝史雄（東京学芸大学大学院）、菅野敦（東京学芸大学）
- 1-6 『行動に課題のある小学生への包括的支援の在り方』
発表者：富永由紀子（明星大学大学院）

第2分科会 ＝コミュニケーション支援領域＝ (26号館507室)

座長：小島道生（岐阜大学）・竹下洋久（社会福祉法人湘南の風）

- 2-1 『ダウン症の「不適応行動」に関する検討』
発表者：濱崎優莉香（東京学芸大学大学院）、菅野敦（東京学芸大学）
- 2-2 『知的障害者へのSSTの実践』
発表者：中山浩平、新井宏二、小林倫、竹下洋久（社会福祉法人湘南の風えいむ）
- 2-3 『苛立ちから不適応行動を起こしてしまう中学3年生男児に対する支援』
発表者：加藤宏昭（都立七生特別支援学校）
- 2-4 『聴覚障害のある重症心身障害者とのコミュニケーションについて』
発表者：増島雄太、長谷川未来、高橋耕年、手塚佳奈（社会福祉法人和枝福社会若草）
- 2-5 『知的障害者通所施設の生活場面コミュニケーションアセスメント表』
発表者：田中多賀子（小松短期大学）、飯島克巳（社会福祉法人なごみ福祉会）
- 2-6 『重症心身障害者のコミュニケーション行動を考える』
発表者：広原麻寿美、成田正幸、比嘉麻美、谷口功治（社会福祉法人和枝福社会若草）

第3分科会 =生涯発達支援領域= (26号館 513室)

座長：爲川雄二（東北大学）・大伴潔（東京学芸大学）

- 3-1 『特別な教育的ニーズのある生徒に関する電話相談事業報告』
発表者：三浦巧也、林安紀子、橋本創一、大伴潔、伊藤良子、菅野敦、池田一成、
小林巖（東京学芸大学）
- 3-2 『Web サイトに求められる発達障害児者支援』
発表者：爲川雄二（東北大学）、橋本創一、林安紀子、菅野敦（東京学芸大学）
- 3-3 『発達障害傾向のある成人に関する調査研究』
発表者：中嶋はるか（東京学芸大学大学院）、橋本創一（東京学芸大学）
- 3-4 『不適応行動のアセスメントによって抽出される支援ニーズに関する研究』
発表者：伊藤浩、小笠原拓、貝沼寿夫、新津健朗（社会福祉法人にじの会）、
菅野敦（東京学芸大学）
- 3-5 『ニューヨーク市におけるパーソンセンタードプランニングの実践』
発表者：安倍真紀（社会福祉法人佛子園三草二木西園寺）、菅野敦（東京学芸大学）
- 3-6 『知的障害特別支援学校における職業教育に関する研究』
発表者：古賀基樹（東京学芸大学大学院）、菅野敦（東京学芸大学）

第4分科会 =生活支援・健康支援領域= (26号館 514室)

座長：細川かおり（鶴見大学）・加藤昭和（社会福祉法人和枝福祉会）

- 4-1 『知的障害者及びその家族の生活の質(Quality of Life)に関する研究』
発表者：高橋亮（社会貢献事業財団ジェロントロジーセンター）
- 4-2 『知的障害者のメンタルヘルスに関する予備的研究』
発表者：福田麻子（筑波大学大学院）、菅野和枝（筑波大学）
- 4-3 『「オープンカレッジ東京 2009」受講のダウン症者のストレス測定の試み』
発表者：細川かおり（鶴見大学短期大学部）、京林由季子（岡山県立大学）、
菅野敦（東京学芸大学）
- 4-4 『重症心身障害者の睡眠リズムに関する実態調査』
発表者：永下徹、津田幸枝、小川哲生、岡本侑子、川宿田美希
（社会福祉法人和枝福祉会若草）
- 4-5 『活動プログラムの導入と成人知的障害者の心身機能に関する検討』
発表者：小笠原拓、貝沼寿夫、新津健朗（社会福祉法人にじの会）
- 4-6 『重症心身障害者のグループ活動での興味・関心へのアプローチについて』
発表者：木村ひとみ、鈴木亮輔、山田篤子、富張裕紀、田港みゆき
（社会福祉法人和枝福祉会若草）

ポスター発表分科会（26号館508室）

座長：林安紀子（東京学芸大学）・橋本創一（東京学芸大学）

- P-1 『通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒における座席位置に関する研究』
発表者：栗田麻美（東京学芸大学）、霜田浩信（群馬大学）
- P-2 『特別支援教育における通常学級‘支援員’の役割と課題に関する検討』
発表者：平田悠紀乃（国分寺こどもクラブ）
- P-3 『成人期自閉症者へのコミュニケーション支援システムの構築』
発表者：斗舛もも子、小林倫、新井宏二、竹下洋久（社会福祉法人湘南の凧えいむ）
- P-4 『学校フィールドにおける発達障害児の問題行動の実態と専門的支援・指導法の導入に関する調査研究』
発表者：宮崎義成（かがわサポートセンター・ウイングス）
- P-5 『知的・発達障害児の鍵盤ハーモニカによる楽譜・演奏の習得とその指示能力に関する実践的検討』
発表者：久見瀬明日香（東京学芸大学大学院）、須山知香（三鷹市立第六小学校）、橋本創一、林安紀子（東京学芸大学）
- P-6 『注意集中が難しい幼児は定型発達児と何が違うのか』
発表者：今井岳志（発達支援研究所スプラウト）、橋本創一（東京学芸大学）
- P-7 『小学生における情緒障害の実態とその支援に関する調査研究』
発表者：松尾彩子（小金井さくらんぼ）
- P-8 『知的・発達障害児における絵図版を用いた文脈推測を含む状況・感情理解に関する検討』
発表者：吉澤美希菜（国分寺市さくらの木）
- P-9 『発達障害児の談話形態の特異性とその支援』
発表者：徳増由季子（東京学芸大学大学院）、橋本創一（東京学芸大学）
- P-10 『アスペルガー症候群の教育支援に役立つ文化体系の考察』
発表者：中川祐志（芦屋大学大学院）